

第 8 回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成 15 年 3 月 28 日 (金) 14:00 ~ 16:15

2. 場 所 春日野荘 飛鳥の間

3. 出席者

委 員 長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳
			(五十音順)

4. 議 事

前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

- 第 7 回有識者委員会の議事要旨

ヒアリングの今後の予定(案)について事務局が説明しました。

- ヒアリングの今後の予定について(案)
- 文化財保護の観点から京奈和自動車道に関するご意見等をいただいた団体一覧

上記に関して次のような議論がありました。

- ・ PTA、地元住民代表へのインタビューについては、委員が立ち会い実施する。
- ・ 行政機関から、必要な情報等を事務局が収集・整理する。
- ・ 文化財保護団体については、「高速道路から世界遺産・平城京を守る会」にヒアリングの要請をする。

以上を受けて、日程などを事務局で調整すること。

以下の方々からご意見を頂き、第 2 回目のヒアリングを実施しました。

- 奈良市観光協会会長 松岡泰夫様
- ・ 大和北道路の必要性和期待される事項
- ・ ルート・構造や配慮すべき事項
- 奈良県立大学助教授 新納克廣様
- ・ 観光客流動の特色と交通の問題点、必要な交通政策
- ・ 京奈和自動車道開通の効果、ルートについて

意見把握の状況について、事務局が説明しました。

- 寄せられた意見の集約について
- 寄せられた意見の公表について（案）

上記に関して次のような議論がありました。

- ・アンケート（訪問配布）については、回収数に必ずしもこだわる必要はなく、追加配布などもする必要はない。回収できなかったケースについてはその原因を含め、適切に分析することが重要である。
- ・意見の公表について、アンケート回答者、地域住民の方等が情報を共有することが重要であることから、意見を項目ごとに分類し、わかりやすく整理したものを公表する。
- ・より詳しい資料の公表の要望があった場合は、個別に対応する。ただし、個人情報等が含まれる部分については委員会において検討する。
- ・いただいた意見については適宜、適切な時期・方法により公表する。

現地視察（案）について事務局が説明しました。

上記に関して次のような議論がありました。

- ・次回委員会では、現地視察を行う。

その他

- 公聴会の実施について事務局が報告しました。

上記に関して次のような意見がありました。

- ・公述希望者からいただいた意見要旨・住所・氏名の公表については、公述希望者が公表を希望しない場合には配慮する。

- 次回委員会について

- ・本日の議論を踏まえ、現地視察を実施する

以 上